

2024年3月7日

各位

株式会社北洋銀行

「北海道水産品応援商談会 in オホーツク」を開催しました

北洋銀行(頭取 安田 光春)は、国際情勢の影響を受けている道産水産品の消費拡大を目的とした当行の取組み「北海道水産品応援プロジェクト」の一環として、3月7日(木)に北見市にて商談会を開催しました。

地元金融機関による連携機関「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」、公益財団法人オホーツク財団様の募集協力のもと、売り手として、オホーツク産の特色ある水産品および加工品を製造販売する食関連企業10社が参加しました。買い手(バイヤー)として、関西圏を中心に9店舗展開している近鉄百貨店様(本社:大阪府大阪市)を招へいしました。

また、商談会開始前には、近鉄百貨店様と各金融機関の関係者による座談会を実施し、オホーツク地域の水産品の魅力について意見交換を行いました。

当行は引き続き、道産食材の消費拡大などを通じて、北海道の基幹産業である「食」の多様な課題解決に取り組み、北海道経済の発展に貢献してまいります。

記

【開催概要】

商談日	3月7日(木)9:45~16:50
会場	北見芸術文化ホール 小練習室2 (北見市泉町1丁目3番22号)
主催	北洋銀行
特別協力	オホーツク地域における金融サービス向上委員会 (北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、北海道銀行、JA北海道信連、北海道信用保証協会、日本政策金融公庫、北海道財務局)
後援	公益財団法人オホーツク財団



商談会の様子



座談会の様子

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。